

# 美の里づくり審査会特別賞

かわづ  
川津資源保全隊(佐賀県白石町)  
しろいしちょう

## 水は生命の源 ～湧水を大切に守ろう～

白石町は佐賀県の南西部、有明海に面する町で県内でも有数の低平地水田地帯ですが、水源に乏しいため、水稻栽培等に必要な農業用水を地下水に強く依存し続けてきました。その結果として、著しい地盤沈下に長年悩まされてきました。このため、農業基盤の整備が行われる際には、地盤沈下対策として農業用水の地下水汲み上げを極力抑制してきました。さらに平成13年には、上水道の水源が地下水から地表水に切替えられ、これらを要因として、約40年ぶりに縫ノ池の湧水が甦り、地域住民は大きな感動を受けたところです。

これを契機に平成14年7月に「縫ノ池湧水会」を設立し、「水は生命の源」のキャッチフレーズに、「湧き水を大切に守ろう」を合い言葉とし、環境美化活動や近隣都市住民を含めた交流活動を開始しました。その後、平成18年に実施された「農地・水・環境保全向上対策」の実験事業に取り組み、川津資源保全隊を設立し、「縫ノ池湧水会」の活動に加え、これまでの活動を集落全域へと展開しました。また平成19年度には農地及び農業用施設並びに農村環境の維持・保全に関する協定を白石町と締結しています。

川津資源保全隊は農業従事者を中心として、縫ノ池湧水会(集落全戸、NPO技術フォーラム)、女性部会、老人会、子供会等によって構成されています。また、営農及び施設管理の技術的な支援については、白石町、白石土地改良区、JAさが(須古支所)等の協力を仰いでいます。具体的には、年2回の集落全域の環境保全活動、年3回の縫ノ池の清掃、農業用排水路等の泥土浚渫及び生き物(淡水魚等)調査等を実施しています。この他にも草花の植栽活動や、女性部会、老人会、子供会により農道等の清掃活動を実施しています。また、当地域の営農は、水田・転作大豆・キャベツ等の露地野菜・タマネギが中心であり、耕作が放棄された農地は一切存在しません。また農地や水路は川津資源保全隊により保全・管理されており、農村特有の景観が良好に保全・形成されています。

また、近隣都市住民との交流促進を目的として、湧き水によるお茶会(野点)を10月に開催しています。また、縫ノ池の湧き水は農業用水として活用されるばかりでなく、飲料にも適しており、この水を求めて集落以外から1日平均150名程度の方々が訪れます。

なお、湧き水の復活を機会に、生態系への影響を考慮し、縫ノ池周囲での除草剤の使用を行わないことにしました。この意識をさらに向上させるため、集落内に植生する野草の花の美しさ、愛らしさを認識できるよう公民館に写真を展示しています。

なお、平成20年度からは、水環境の保全へのメッセージとして、キャンドルナイトを7月15日に実施しています。



湧水が復活した「縫ノ池」